



すぎさん

<http://www.suainami-school.ed.jp/suai3shou/>

令和4年2月号

杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

子どもたちの学び

副校長 板垣 聡美

小学校学習指導要領は、令和2年度4月1日から完全実施され、学校での学び方が大きく変わりました。杉並第三小学校は、令和元、2、3年度と3年間杉並区教育委員会の教育課題研究指定を受け、子どもたちが主体的に学ぶ「学びの構造転換」の授業を研究してきました。先日、1月21日（金）に区内外の先生方にご案内し、研究発表をさせていただきました。

研究1年目から、軽井沢風越学園 副校長 甲斐崎博史先生にご指導いただき、学びの主体は子どもたちであり教師はファシリテーター（伴走者）として子どもに寄り添い導いていく役割になると教えていただきました。私たち教師自身が従来の黒板の前に立ち、整然と座っている子ども達に一齐に指導する教師主導の指導から、子ども主体の学びに意識を構造転換するところから研究はスタートしました。研究の柱を、子どもたちが互いを認め合える「学級作り」と教師自身が学ぶ「教材研究」を土台とした授業実践として進めてきました。

先日の研究発表では、1年生は算数「くらべかた」で、自分の身近な物を単位としてそのいくつか分、長さを調べたり比べたりする学びをしました。2年生は国語「スーホの白い馬」で、感想をもとに、一人一人が物語を読み進める自分の課題作りをしました。3年生は理科「じしゃくのふしぎ」で、身近な磁石だけど確かめたことのない不思議を調べる実験方法を選択し、それぞれが実験を行いました。4年生は国語「初雪の日に」で、自分の課題の探究を進めました。途中で迷っている子、困っている子は教師から「ポイントレッスン」でヒントをもらい、学びを進めました。5年生は音楽「曲想にふさわしい表現を工夫しよう～卒業式に向けて～」で、『飛行船』を合唱するために、自分の課題をもちパート練習を行い授業の最後の全員合唱で確かめ合いました。6年生は社会「日本とつながりの深い国」で、『つながりが深い』をキーワードに思いつく国を出し合い、調べる国を決め自分の選んだ方法で探究をスタートしました。

この3年間の積み重ねを通して、子どもたちは様々な教科で、自分で学びたいことを選択し、決定してきました。そうすることで、学びが自分事になり、自分で決めた課題を探究しようとする授業時間のスタートからやる気満々です。苦勞をしても必死で解決に向かいました。中には、「先生、家でやっても良いですか？」と家で調べたりまとめたりする姿もありました。また、5、6年の総合的な学習の時間「杉三学」で、杉三小の歴史・自分たちの生活の課題・学校を支えて下さる方々等、自分でテーマを決め同じテーマのグループを作り、調べ、学校をより良くする活動を進めました。担当の先生にインタビューしたり、校長室に出向き資料を借りて調べたり、ポスターにして全校に呼びかけたり、それぞれの思いで学びを進めました。休み時間には、低学年が高学年を誘って鬼ごっこや縄跳びをし、運動会で演技発表をした4年生が下学年に一輪車の乗り方を教えるなど、異学年で遊ぶ姿が見られます。子ども達のもつ豊かな汎用性には驚かされるばかりです。

令和3年11月に「杉並区教育ビジョン2022」が策定されました。I 私たちが大切にしたい教育の“みんなの幸せを創る杉並の教育”の中に「大切にしたいこと3つ」がありました。

- ◇学び合い、信頼をつくり、共に生きる
- ◇ちがいを認め合い、自分らしく生きる
- ◇誰もが社会の創り手として生きる

この中にもあるように、子どもたちは、自分が不思議だと思ったことや興味があることを学びたい、みんなに認められたい、人の役に立ちたいと思っています。それらのことを授業や活動の中で積み重ねた経験が、その後の生きていく支えになり力になっていくのだと思いました。

本校の研究は、始まったばかりでまだまだ未熟ではありますが、子どもたちのキラキラした笑顔を見るために、支えてくださる多くの皆様への感謝をもちながら前へと進めてまいりたいと思います。